

ベトナム国ハノイ工科大学（HUST）と包括交流協定を締結

岐阜高専は、平成29年5月4日、伊藤校長、和田副校長、山本前国際交流室長の3名が渡航し、ベトナム国ハノイ工科大学（HUST）と包括交流協定を締結した。ハノイ工科大学は、1956年に創設されたベトナム国最初の技術系総合大学であり、教育訓練省が定める重点14大学のひとつとして工学系高等教育の拠点機関と位置づけられている。また、独立行政法人国立高等専門学校機構は、同年2月27日に同大学と包括連携協定を締結しており、今回の本校との締結により、本年度独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）支援の短期留学生の協定受入が実現し、今後、双方向学生交流および教員の国際共同研究などを可能にする包括的なものである。

さらに、ハノイ工科大学の傘下にあるハノイ工科短期大学（HACTECH）、JASSOベトナム事務所（岡田叔子所長）、独立行政法人国際協力機構（JICA）ベトナム事務所等を訪問し情報交換を行った。加えて、包括交流協定を既に締結しているベトナム中部土木大学（MUCE）を訪問し、ベトナムが直面する“環境の持続可能性”と“災害に対する強靱性”を備えた都市インフラ整備などについて、双方の研究者が情報交換し、日本の経験を活かす教員間交流も推進する予定である。



ハノイ工科大学における交流協定調印式
（中央右：伊藤義人校長，左：Huynh Quyet Thang 副学長）

参考 Huynh Quyet Thang : ファイン・クイエット・タン